



コレクション展  
 新春の国宝 なちのたきす 那智瀧図  
 — 仏教説話画の名品とともに —

2013年1月9日[水]～2月11日[月・祝]

[休館日] 月曜日



根津美術館では、平成25年（2013）新春の展覧会として、熊野那智大社のご神体・那智大瀧（飛瀧権現<sup>ひろうごんげん</sup>）を描いた国宝「那智瀧図<sup>なちのたきす</sup>」と中世の仏教説話画の優品をご覧ください。コレクション展「新春の国宝那智瀧図 — 仏教説話画の名品とともに —」を2013年1月9日 [水] から2月11日 [月・祝] まで開催します。

国宝「那智瀧図」（鎌倉時代、13～14 世紀、根津美術館蔵）は、宗教画として、また瀧を描いた風景画として、日本絵画を代表する作品と謳われ、懸崖を落ちる一筋の瀧のすがたには、日本人の自然に対する敬虔な思いが込められています。今回の展覧会は、この「那智瀧図」をギャラリー内にゆったりと展示し、新たな年の始まりに、根津美術館で＜那智瀧への参詣＞をしていただく趣向です。

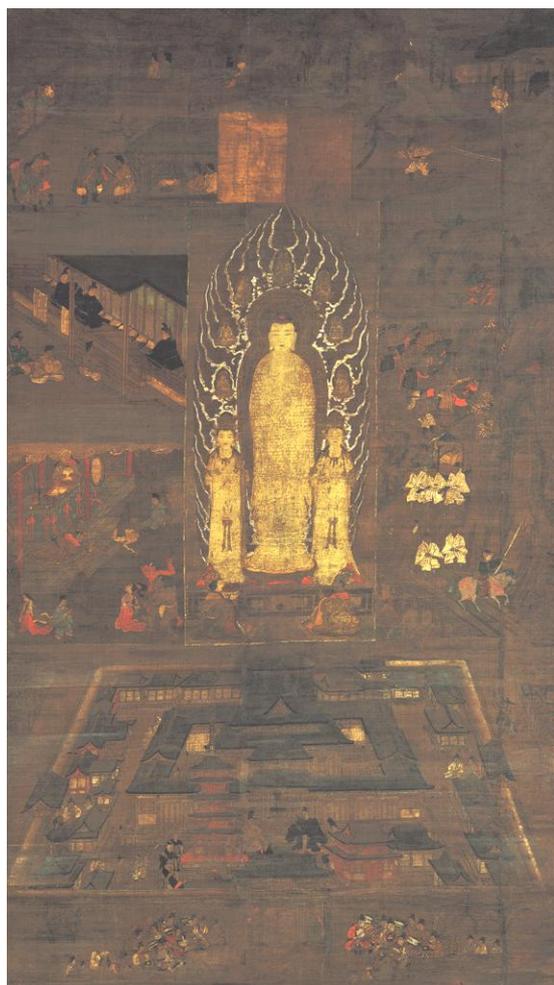
仏教絵画の目的のひとつは、釈迦の生涯や、宗派の優位性、寺院の由来、高僧の物語を描きあらすことで、信者や民衆を諭し、勸進<sup>かんじん</sup>することにあります。本展覧会では、「那智瀧図」とともに、根津美術館が所蔵する中世説話画コレクションの中から、「絵過去現在因果経<sup>えかこくざいんがきょう</sup>」、「天狗草紙絵巻<sup>てんぐそうしえまき</sup>」、「高野大師行状図画<sup>こうやだいにしぎょうじょうずえ</sup>」などの絵巻物、また掛幅装の「善光寺縁起絵<sup>ぜんこうじえんぎえ</sup>」、「聖徳太子絵伝<sup>しょうとくたいえでん</sup>」を一堂に展示いたします。中世人の豊かな想像力が生み出した、仏教説話画17件をお楽しみいただきます。

■ 展示室 1・2 〈コレクション展〉 新春の国宝那智瀧図 –仏教説話画の名品とともに–

縦長の大きな画面に、熊野・那智山南腹の絶壁を落ちる那智の瀧が白く浮かび上がる。古代より神聖視されていたこの瀧は、やがて観音が姿を変えて現われた権現ごんげんとみなされ、天皇や公家たち、さらには庶民層の信仰を集めていく。本図は、遙か熊野の大瀧を礼拝するために制作された本尊画像だったと考えられる。紅葉の懸崖を落ちる那智瀧、月、老杉、拝殿だけを、堂々とした構図に描くこの作品は、まさに日本絵画を代表する一点というにふさわしい。



国宝 那智瀧図（部分） 1幅 鎌倉時代 13-14世紀 根津美術館蔵



重要文化財 善光寺縁起絵 3幅のうち

鎌倉時代 13~14世紀 根津美術館蔵

信濃国（長野県）にある古刹善光寺の本尊、阿弥陀三尊像の由緒や善光寺創建の物語を、3幅対の大画面に描いた作品。ここにあげた幅には、善光寺の大伽藍と、三国伝来の霊像といわれる阿弥陀三尊を大きく描き、周囲に仏像にまつわる物語の場面を巡らせている。



重要文化財 絵過去現在因果経（部分） 1巻 良盛筆／慶忍・聖衆丸画 鎌倉時代 建長6年(1254) 根津美術館蔵

下段に、釈迦の前世の物語と生涯の伝記をあらわした経文、上段にそれに対応する絵画を描く。8巻本のうち、根津美術館はその4巻目。出家を決意した太子（のちの釈迦）が、愛馬カンタカに乗って城を出てゆく様子が、軽妙な筆使いで描かれている。



高野大師行状図画（部分） 9巻 室町時代 16世紀 根津美術館蔵

実在する人物の威徳れいげんや靈験の伝記絵で、最も多く作られたのは、聖徳太子と弘法大師空海であろう。本図は、中国に渡った空海が、唐帝の命を受け宮中の壁に書く場面。手足と口に筆をとり、五行を同時に書いたという。室町時代に制作された根津美術館本には、山水に水墨画の技法がみられる。



善導大師像(部分) 1幅 室町時代 15世紀 根津美術館蔵

浄土宗の開祖法然は、師と仰ぐ中国・唐代の善導の夢を見た。善導は、墨染めの衣の下半身を金色に輝かせ、法然の専修念仏を称えるために現れたという。後にこの物語をもとに描かれた善導像が流行した。



重要文化財 天狗草紙絵巻(部分) 1巻 鎌倉時代 永仁4年(1296)頃 根津美術館蔵

当時の仏教僧が、世の無常を悟ることで驕りの行状を改め、菩提心を起こして成仏する物語。根津美術館が所蔵する1巻は、物語の最後の巻。この場面では、天狗の姿に描かれた各宗の僧たちが集まり、それぞれの修行を誓う。

### <その他のおもな出品作品>

重要文化財	しゃかはつそうず 釈迦八相図	1幅		鎌倉時代	13世紀
重要美術品	らかんぞう 羅漢像	2幅		鎌倉時代	13世紀
重要文化財	ぶつねほんず 仏涅槃図	1幅	ぎょうゆう せんゆう 行有・専有筆	南北朝時代	康永4年(1345)
	じぞうぼさつれいげんきえまき 地蔵菩薩霊験記絵巻	1巻		南北朝時代	14世紀
重要美術品	やたじぞうぼさつえんぎえまき 谷田地蔵菩薩縁起絵巻	1巻		室町時代	15世紀
重要美術品	ゆうずうねんぶつえんぎえまき 融通念仏縁起絵巻	1巻		南北朝時代	14世紀
	しょうとくだいしえでん 聖徳太子絵伝	3幅		南北朝時代	14世紀
	こうぼうだいしえでん 弘法大師絵伝	1幅		室町時代	15世紀
	しよしゃざんによいるんかんのぞう 書写山如意輪観音像	1幅		室町時代	15世紀

## ー同時開催ー 《テーマ展示》

### ■ 展示室5 「吉祥文様のやきもの」



ほうかれんげもんせん  
法花蓮華文洗 中国・明時代 16世紀 根津美術館蔵

新しい年や、未来への願いを込めた文字や文様をうつわに描くことは、中国や朝鮮では盛んに行われたが、日本ではお目出度い文字、松竹梅など限られた意匠を大切にしてきた。展示室5ではこの吉祥文への想いを展示する。。

### ■ 展示室6 「寿ぎの茶会」



ひきごほないげ  
瓢花生 銘 狙公 千宗 巨作 江戸時代 17世紀 根津美術館蔵

新年の一陽来復を祝い、平成25年の歌会始の御題「立」に因んだ立鶴文様の茶碗、猿回しを意味する「狙公」と名付けられた花生など、新春を寿ぐ茶道具約20点を展覧します。

## [関連情報]

### 講演会1《仏教説話画を楽しむ ー見せる、教える、論ず絵画ー》

日時 2013年1月12日[土] 午後2時から午後3時30分  
講師 白原 由起子(根津美術館 学芸課長)  
場所 根津美術館 講堂、定員140名

### 講演会2《那智瀧図の信仰 ー説話画を手がかりにしてー》

日時 2013年1月19日[土] 午後2時から午後3時30分  
講師 米倉<sup>みちお</sup> 迪夫氏(東京文化財研究所名誉研究員)  
場所 根津美術館 講堂、定員140名

#### 〈申し込み方法〉

往復はがきに参加を希望される「講演会1」もしくは「講演会2」、住所、氏名(返信面にも)、電話番号を明記の上、〒107-0062 東京都港区南青山 6-5-1 根津美術館「新春の国宝那智瀧図展 講演会係」宛にお申込みください。「講演会1」は2012年12月26日[水]、「講演会2」は2013年1月5日[土] 締切(当日消印有効)。参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

## ◆ギャラリートーク

2013年1月18日[金]、2月1日[金]

※いずれも午後1時30分より約60分間イヤホンガイドを使って行います。

※午後1時よりホールにて整理券を配布します。

※当日先着30名様に限らせていただきます。

※参加は無料ですが、入館料をお支払いください。

## [開催概要]

- 【展覧会名】 コレクション展「新春の国宝那智瀧図 ー仏教説話画の名品とともにー」  
【主催】 根津美術館  
【開館期間】 2013年1月9日[水]～2月11日[月・祝]  
【開館時間】 午前10時～午後5時 [入館は午後4時30分まで]  
【休館日】 毎週月曜日  
【入館料】 一般1000円 学生800円  
\* 20名以上の団体、身障者手帳提示者および同伴者1名は200円引き  
\* 中学生以下は無料  
【前売券】 一般900円 学生700円  
\* 2012年11月1日[木]～12月16日[日]「ZESHIN」展開催期間中、  
根津美術館ミュージアムショップにて販売  
【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車  
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレータ)より徒歩10分、  
B3出口(エレベータまたはエスカレータ)より徒歩10分  
【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号  
【お問い合わせ】 TEL 03-3400-2536(代表)  
【ホームページ】 <http://www.nezu-muse.or.jp> (日本語・English)  
【携帯サイト】 <http://www.nezu-muse-app.jp> (日本語・English)  
\*携帯サイトは、機種により閲覧できない画面があります。  
【専用アプリ】 「App Store」・「Google play」から「根津美術館」を検索してダウンロード

### ー次回展のご案内ー

コレクション展

えんしゅう ふまい びいしき

## 遠州・不味<sup>ふまい</sup>の美意識 ー名物の茶道具ー

2013年2月23日[土]～4月7日[日]

「綺麗さび」を好んだ小堀遠州と、名物を蒐集した松平不味ゆかりの茶道具を一堂に展観します。



重要文化材 瀬戸丸壺茶入 銘 相坂 南北朝～室町時代 根津美術館蔵

### 〈リリース・広報のお問い合わせ〉

担当:鎌倉/羽田/白原

TEL 03-3400-2538 広報(直) FAX03-3400-2436 MAIL: [press@nezu-muse.or.jp](mailto:press@nezu-muse.or.jp)